

# 平成13年度の活動記録

## 7月6日(金) 平成13年度通常総会の開催 於:茨城県開発公社 第2小会議室

午前中に平成13年度の第1回理事会を開催し、午後開催予定の総会付議議案の審議、分科会成果、出版物の報告などを行いました。  
その中の意見として、新しい分科会活動として、PFIに関する研究、土木業務のデジタル化の対応、の2点について提言がありました。  
また、新しい加入団体の検討として、保証関係・設備関係・建築関係の団体を勧誘してはどうかとの意見がありましたので、具体的に運営委員会で検討を進めることにしました。

午後から、同大会議室に於いて、総会を開催し、平成12年度の事業ならびに決算報告、平成13年度の事業計画、ならびに予算計画が原案通り承認されました。  
続いて、「PFIの基本原則とその応用」と題して特別講演が行われました。  
([総会プログラム参照](#))

## 3月1日(金) 「いばらき建設文化を語る懇談会」の開催

於: 茨城県開発公社 3階大会議室

「現場における建設技術の継承を目指して」の副題のもと、第1回としまして道路部門について2部構成により開催しました。

第1部(13:30~15:00)

「基調講演: いばらきの道路づくり」 講師: 元茨城県土木部総括技監 立原 信永氏

- ・高速道路のルート決定について
- ・一般国道の改築
- ・プロジェクトと道路整備

などの項目について、ご自身の体験を踏まえ、ご講演をいただきました。  
道路づくりの歴史について、今の若い方には大変参考になりました。



第2部(15:00~17:00)

「現場技術パネルディスカッション」  
茨城大学の安原先生をコーディネーターに、各グループから11名のパネラーに御出席いただき、

- ・道路計画のきっかけ(地域整備と道路整備)
- ・ルート選定と現場踏査について
- ・概略設計と詳細設計
- ・工事を施工するに当たって
  - 測量(地形測量、用地測量)
  - 丁張り
  - 仮設工法での提案
  - 設計には現れない現場サイドでの工夫



施工中の工夫点、苦労話  
工事中の設計協議や工法協議(ここだから話せる話)  
工事竣工後のトラブル

・まとめ

などの各項目につきまして様々なご意見・提案・体験談等をお話しいただきました。以上の内容につきましては、印刷製本しまして、平成14年度の総会にお配りする予定です。

### 3月13日(水) 現地見学会の開催



参加者34名(うち会員22名、非会員12名)でバス1台で実施致しました。

県庁8:30発、駅南8:45で午前中の見学場所は、東海村石上の「久慈川新橋」の住友・東京鉄骨JVの架設現場です。

大宮土木ならびに業者から橋梁工事の概要、ならびに基礎工について、架設方法などについて説明を受け、桁架設を終了している右岸側(東海側)から、橋上にあがり、メタル箱桁の敷設完了状況を視察しました。

橋梁の概要は、橋長410m、幅員16m、4径間連続鋼床版箱桁橋で、鋼重量は3,170tです。

続いて午後は、玉造町芹沢の玉造北部工業団地にあるピーエス茨城工場において、PC桁製作の過程の見学をしました。